SWGsを掲げる長木小学校

令和８年度 大館市立長木小学校
学校評価書（前期・評価記入版）

Well-beingを達成するために身に付けたい
4つのコンピテンシー

やさしさ　正しさ　ねばり強さ　素直さ

令和８度前期　地域とつながる長木っ子



応援チームのみなさんとさつまいもの苗植え



シンNAGAKIオリンピックinハチ公ドーム



保育所年長児と一緒にあじさいのお世話



夏のエゾポッポくらぶで親子カレー調理

令和８年１０月８日（木）大館市立長木小学校

Ⅰ　令和８年度の学校評価について

令和８年度の学校評価と評価書の概要について

(1)　令和６年度から、学校評価の参考となる「児童評価」に１・２年生も加えて、児童・保護者・教職員の観点から評価できるようにしています。個々の児童・保護者の評価は別紙のアンケート結果を、職員の自己評価は「学校評価一覧」(A3横版)をご覧ください。

(2)　本冊子内のグラフに反映している教職員評価は、比較しやすいように児童・保護者と形式を同じくした「別アンケート」から取っています。

(3)　本冊子の自己評価Ａは、「学校評価一覧(A3横)」の評価項目Ⅰ～Ⅴの小項目自己評価Ｂの平均で判断しています。

(4)　P3からの「Ⅳ 項目別評価」の自己評価Ｂは、「学校評価一覧(A3横)」の小項目の教職員自己評価（５段階評価）の平均値で示しています。

(5)　運営協議会評価は、学校からの説明、自己評価Ａ・Ｂ等の結果に基づいて、運営協議会委員の方々に５段階（極めて良好～努力を要する）で評価していただきます。

(6)　本冊子評価の横棒グラフは、児童・保護者、教職員((2)の別アンケート)の学校評価アンケートの結果を示しています。

(7)　アンケート文言の変更等により、集計結果にR7前期の数値を記載していない箇所がありますが、質問の大意に相違は無いと判断し、R7前期の横棒グラフを掲載している場合があります。

Ⅱ　学校評価の基準

自己評価Ａと学校運営協議会の評価区分		自己評価Ｂの評価基準		
	極めて良好		５	実現状況は極めてよく意識も高い/数値目標の100%
	良好		４	実現状況は良好で意識もある/数値目標の81～99%
	概ね良好		３	実現状況はおおむね良好である/数値目標の61～80%
	やや不十分		２	実現状況はやや不十分で取組が不安定/数値目標40～60%
	努力を要する		１	実現状況は不十分で努力を要する/数値目標の39%以下の達成

〈参考〉児童・保護者のアンケートの評価基準、対象者数・回収率

そう思う	4
だいたいそう思う	3
少し不十分	2
不十分	1
分からない	0

調査対象児童数	154名
調査対象保護者世帯数	112世帯
回数世帯数	89世帯
回収率	79%
教職員回答数	10名

Ⅲ　令和8年度　SWGsを掲げる長木小　学校経営グランドデザイン

大館市の教育目標　　ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

学校教育目標

ふるさとに立ち 心豊かで たくましく 生き生きと学び合う 子どもの育成

教育理念：子ども、保護者、教師、地域、みんながパートナー

目指す子ども像	目指す学校像	目指す教師像
○自分の強みを発揮して、粘り強く課題解決に取り組む子ども ○やさしさと思いやりにあふれ、互いのよさを認め合える子ども ○前向きに考え、主体的に行動し、共に高め合える子ども	○笑顔の花あふれる、やさしい学校～「児童会テーマ」 ○つながりの中でたくましく生きる力を高める学校 ○子どもが毎日行きたい、教師が働いていて楽しいと思える学校	○教育のプロとして自己修養に努め、指導力向上に取り組む教師 ○元気、笑顔、あいさつを大切にする教師 ○チーム長木を大切にし、助け合える教師

４つのコンピテンシーを育成するＮＡＧＡＫＩの３ステップ

やさしさ	正しさ	ねばり強さ	素直さ
共感する力 助け合う　協力 親切　思いやり あたたかい言葉と行動	正しく判断する力 ルールを守る　自分ごと 教え合う　刺激し合う	向上心・忍耐力 より良く　あきらめない 切り替える　最後まで	傾聴力 相手を見る 受け入れる 傾聴　柔軟性

Step３　長木小の最重点ＰＪ

未来大館市民を育てる三つの重点活動



⑭⑯あじさい・エゾタンポポPJ



⑪⑬鳳凰太鼓・鹿島太鼓の継承



⑮⑰保小連携・地域連携

Step２　各指導部の重点戦略

学習指導部（学力づくり）
伝え合う力　ねばり強さ

⑨⑪基礎学力の向上
⑨⑩伝え合う力の育成
⑫読書活動の推進

特活・生徒指導（絆づくり）
自ら行動する力

①②基本的生活習慣の向上
②⑤やさしい学校を目指す行動
⑨⑰主体的な児童会・学級活動

保健体育指導（健康づくり）
健康な心と体　ねばり強さ

⑦⑧基本的な体力の向上
③④⑤メディアコントロール、情報モラル教育の充実
⑥⑦望ましい生活習慣の定着

Step１　子どもたちによる実践活動

Well-beingな学校であり続けるための17の実践目標

SUSTAINABLE WELL-BEING GOALS



Ⅳ　項目別評価

学校教育目標の実現と４つの能力（コンピテンシー）

児童の状況		自己評価Ａ	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
17の実践目標の活動に具体的に取り組む中で、子どもなりに４つのコンピテンシーの意味を捉えながら、学校づくりに参画している。	前期	概ね良好	概ね良好	子どもたちが生き生きとしている。あいさつも良い。１年生の元気のよさ～６年生の落ち着き。先生が子どもを肯定する声かけが多く聞かれた。児童の自主性・自発性を学びに結び付けて活動している。子どもが思う「やさしさの基準」と大人が考えるそれとのずれがあることで評価も乖離してくる。長木の児童に求めているやさしさの基準をきちんと伝えると良いのでは。
	後期			

自己評価の概要と学校の改善策

【前期】学校教育目標実現に関する保護者の肯定割合は92（昨年度比－２）、教職員は肯定割合90（－10）。年度をまたぎメンバーが数名変わっても、肯定割合が高止まりしていることは、学校経営の姿勢として揺るがないものが出来上がっており、日頃の教育活動がていねいに展開され、望ましい児童や学校の姿として表れているものと考えられる。

４つのコンピテンシーは、「ねばり強さ」「素直さ」が児童・保護者・教師共に数値が上がった。特に「ねばり強さ」が（＋11・＋6・＋20）と顕著な伸びを示している。これまでの学習・生活指導が浸透してきたものと考えられる。数値の低下で気になるのは、「やさしさ」（保護者：79→64）と「正しさ」（教師77→50）。〈相手の気持ちを考えた温かい言動〉を取ること、〈善悪の判断を付け、きまりを守る〉ことについて、取組を強化していかなければならない。

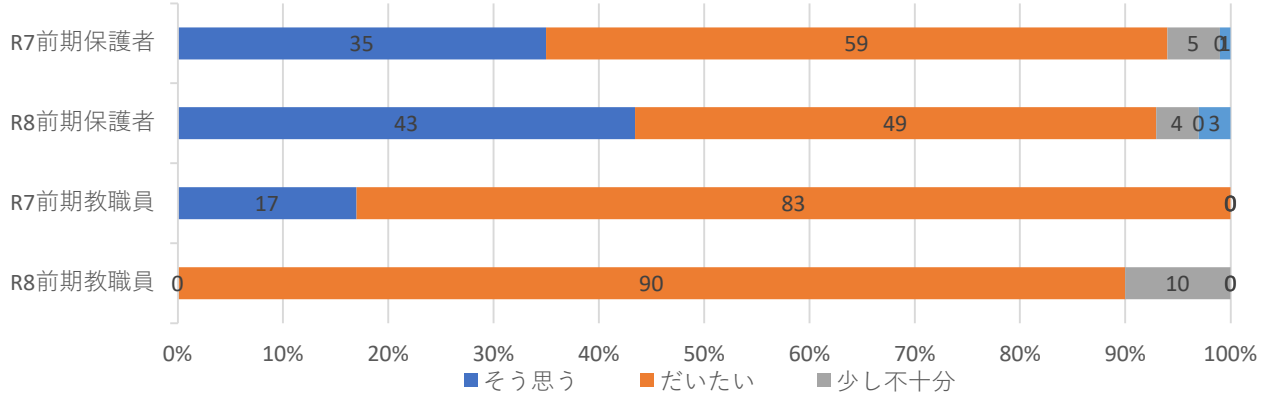
17の実践目標への取組については、教師のみのアンケート。特に良くできていると評価された項目は「明るいあいさつ」「体力つくり」「学校の伝統を守る」「人と、地域とつながる」だった。明確な取組・活動があり、成果が実感しやすいものへの評価が高い傾向にあると感じた。このことは、効果的な教育活動全般へのヒントになると考えられる。

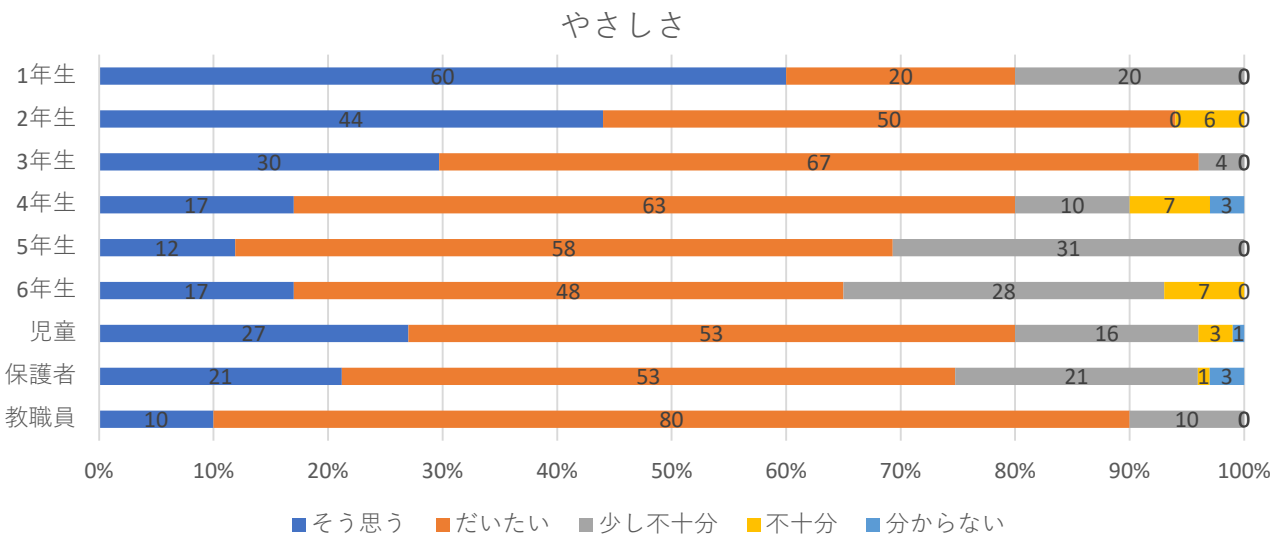
【年度】

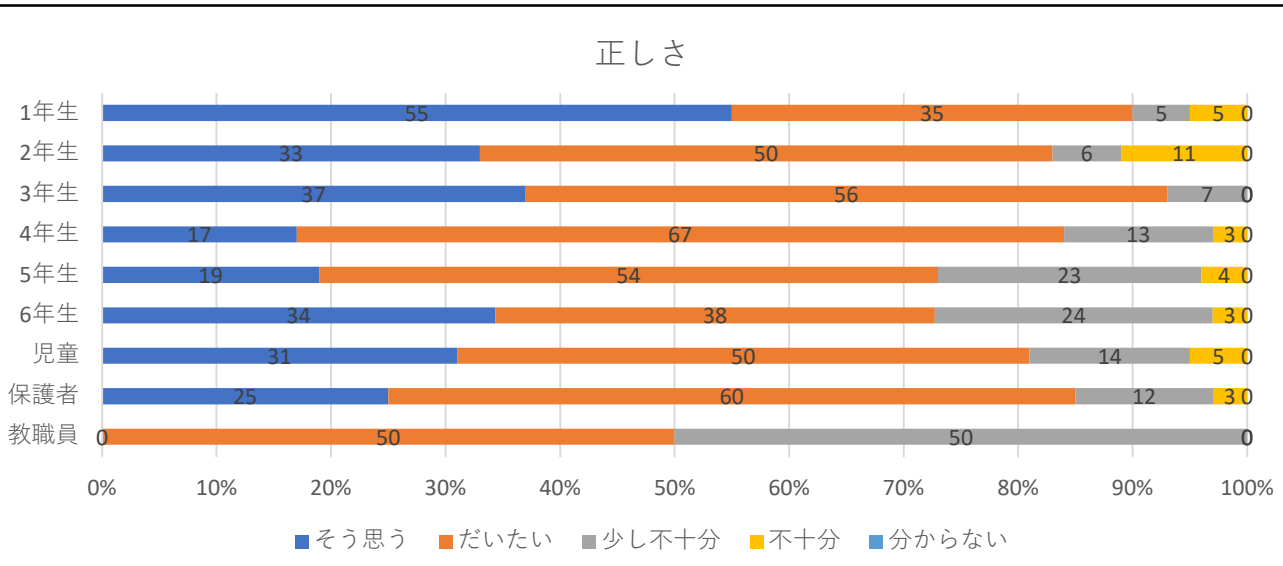
評価指標	評価指標の内容	自己評価Ｂ	
		Ｒ７ 前期	Ｒ８ 前期
学校教育目標	ふるさとに立ち 心豊かで たくましく 生き生きと学び合う 子どもの育成	3.8	3.7
やさしさ	相手に共感をもって接し、思いやりと温かい言葉で行動している。	3.6	3.7
正しさ	善悪を正しく判断し、規則を守って生活している。	3.7	3.2
ねばり強さ	向上心と忍耐力をもち、失敗しても気持ちを切り替えて、活動に取り組んでいる。	3.6	3.8
素直さ	相手の話をよく聞いて理解し、落ち着いて考えて行動につなげている。	3.8	3.7
17の実践目標	子どもたちは17の実践目標を意識し、「笑顔の花あふれる、やさしい学校」になるように考えて、生活している。	肯定ポイント７７	肯定ポイント８９

【評価指標】学校教育目標・身に付けさせたい能力（コンピテンシー）

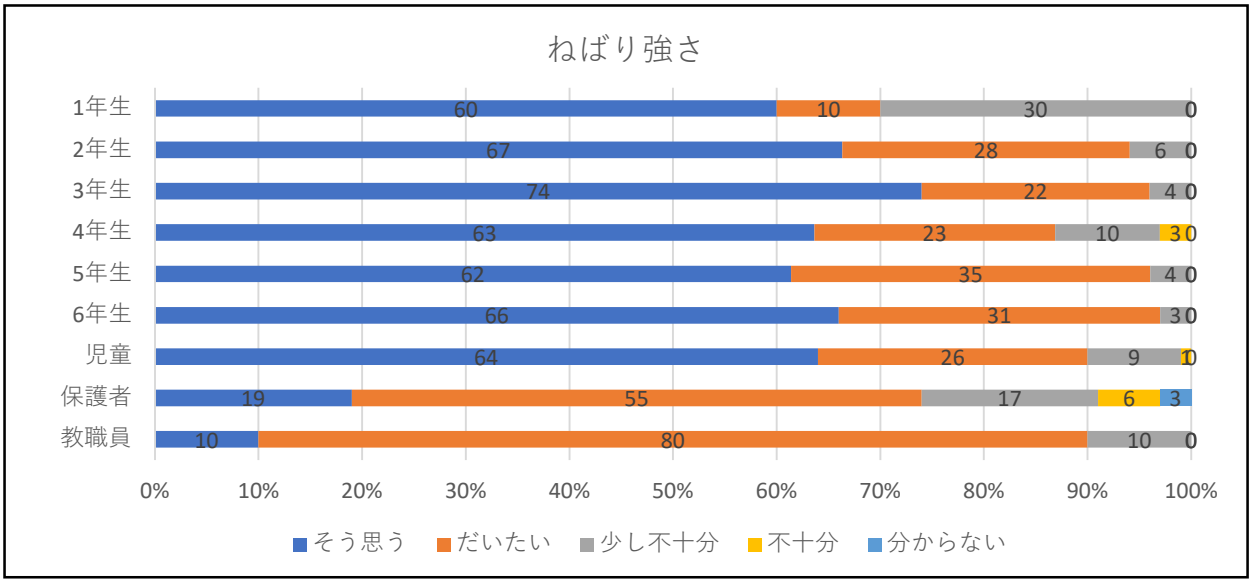
【学校教育目標】学校は、学校教育目標の実現のための教育活動を実施している。

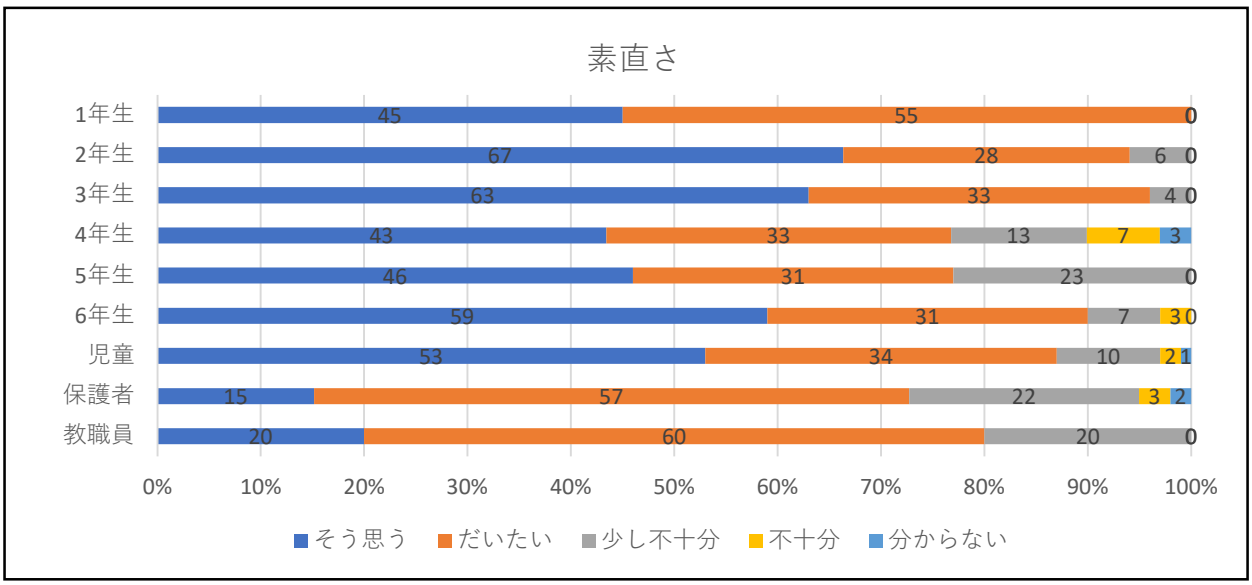


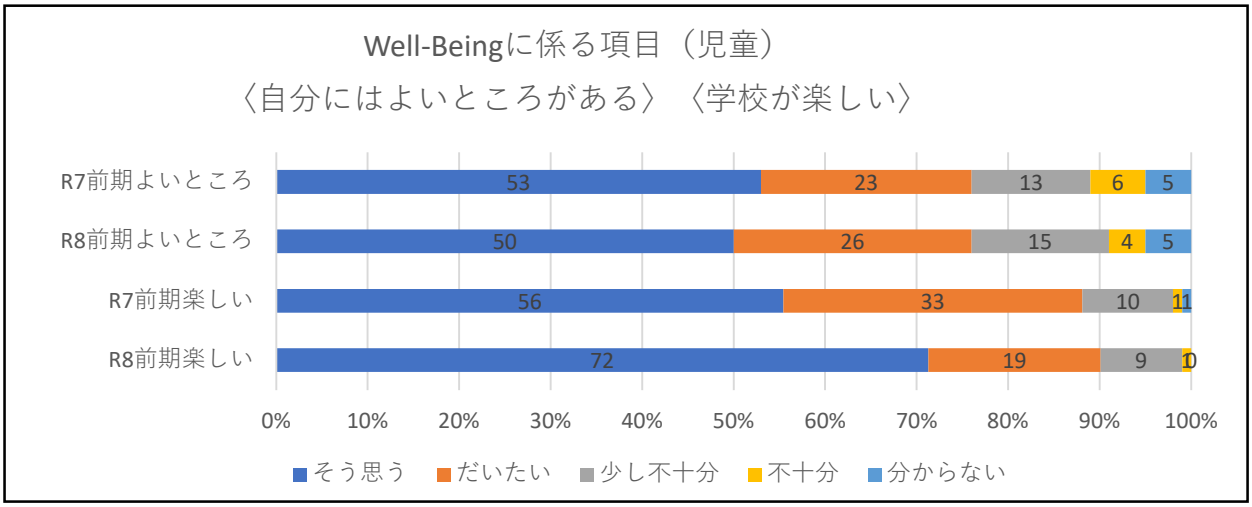




【評価指標】学校教育目標・身に付けさせたい能力（コンピテンシー）

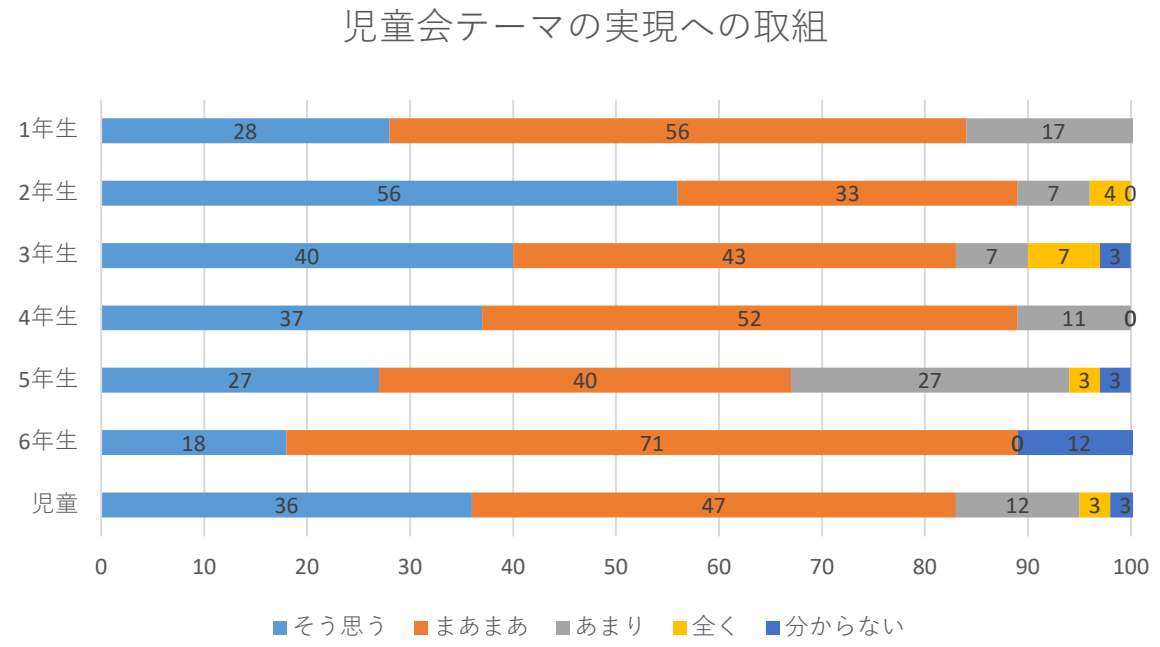




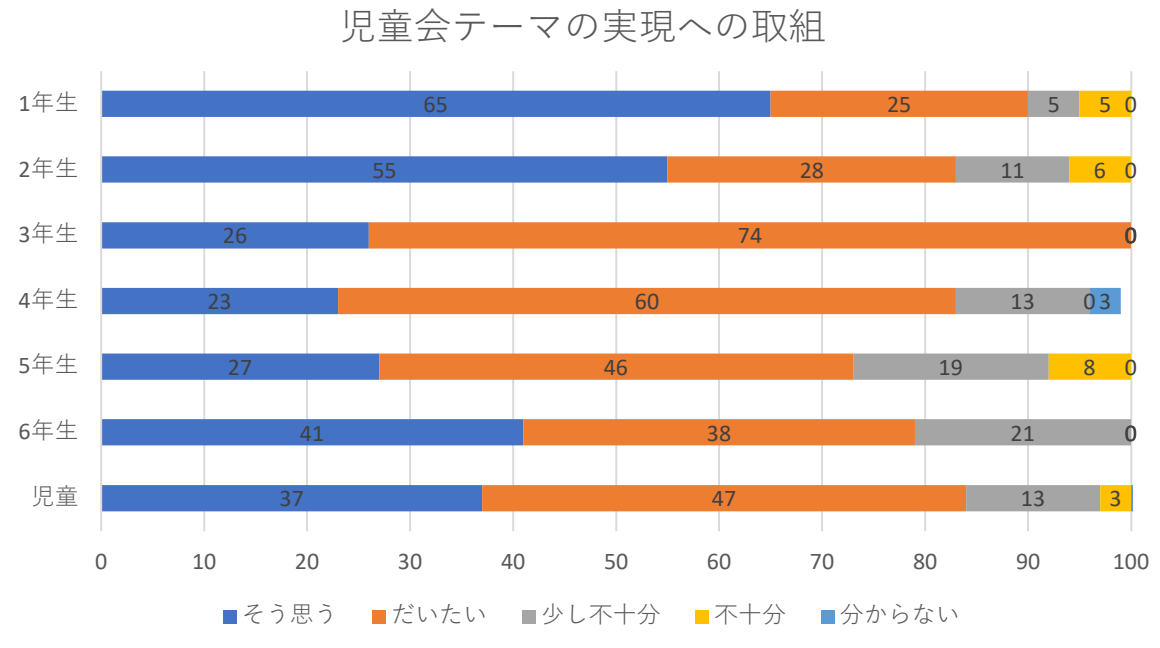


【参考データ１】児童会テーマ「笑顔の花あふれる、やさしい学校」になるように考えて、活動していますか。

【Ｒ７前期】

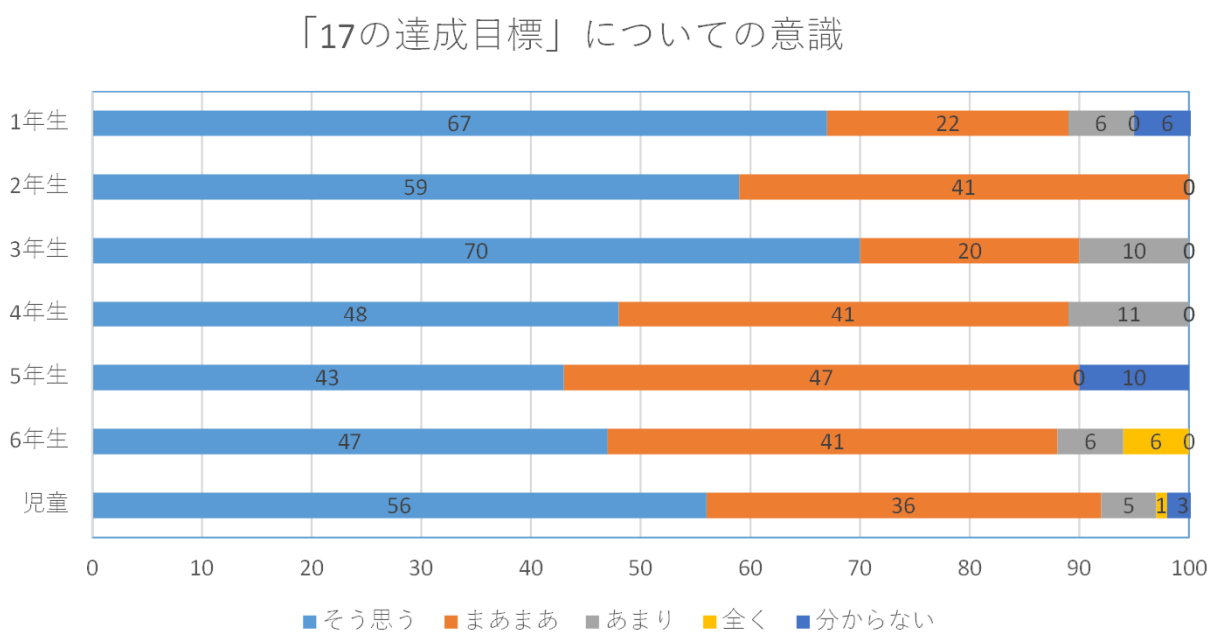


【Ｒ８前期】

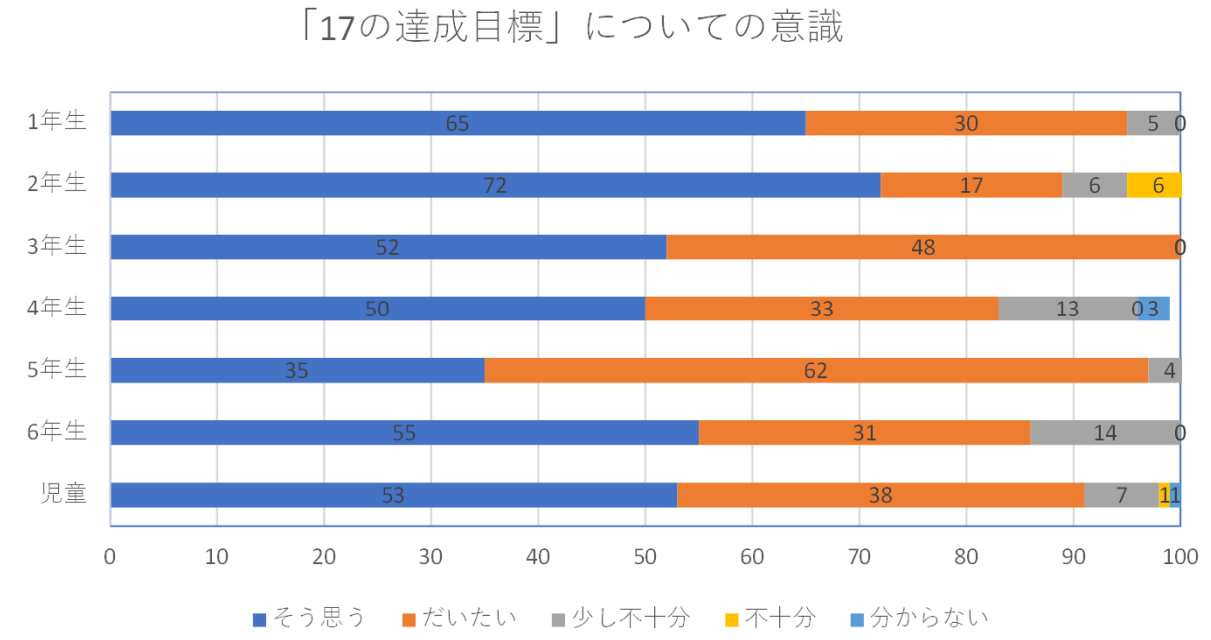


【参考データ２】「17の達成目標」は、学校や家での生活をよりよくするために役立っていると思いますか。

【Ｒ７前期】



【Ｒ８前期】



Ⅳ　項目別評価

1　社会性の育成

児童の状況		自己評価Ａ	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
基本的な生活習慣を身に付け、規律ある態度で協力し合い、主体的で充実した学校生活を送ろうとしている。	前期	概ね良好	概ね良好	言葉遣いは各家庭の問題でもある。保育所では、「ふわふわ」「ちくちく」言葉と表現して望ましい言葉遣いについて考えさせている。昔は知らないおじさんからでも怒られる経験があった。長木小出身の子は、中学校では前に出て行くエネルギーが少ない場合が多い。力はあるのに。ＫやＡ小の子は我が強い子が多い。
	後期			

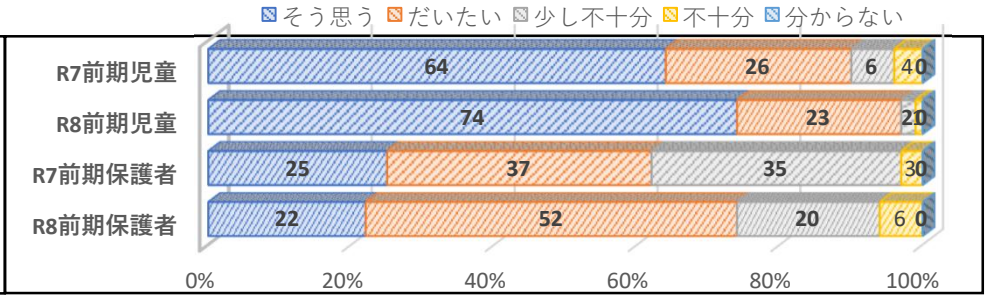
自己評価の概要と学校の改善策	
	【前期】児童の肯定率は、今年度も「あいさつ」（90→97）「責任感」（90→94）の項目で、高い水準を維持している。委員会や学級活動を活用したあいさつ運動や、学級の係活動・委員会の当番活動において自分の仕事にしっかり取り組んでいる姿が数値を証明していると思われる。「いじめ」に関する項目は（児童77→86）。未然防止への取組、日常の教育相談、トラブルへの迅速な対処等、先生たちの地道な取組が児童の心理的・身体的安全の確保につながっていると考えられる。ポイントが低かったのは規範意識（80→75）。名札、学習用具の準備、廊下歩行等を例に挙げて、生活の約束を守っているかを聞いた。〈ルールを守る、当たり前のことを当たり前に行う〉の基本を大事にしていきたい。 　保護者評価では「言葉遣い」の肯定率ポイントが57と大変低く、家庭での言葉遣いがどのようになっているのか、とても心配である。TPOに合わせた望ましい言葉づかいについて、折に触れて学校でも指導していきたい。
	【年度】

評価指標	評価指標の内容	主な取組	自己評価Ｂ	
			Ｒ７前期	Ｒ８前期
(1)基本的な生活習慣の定着	①明るいあいさつと思いやりのある言葉遣いの励行	登下校時や校内外でのあいさつの指導 相手や場に応じた言葉遣いの指導	3.4	3.6
	②生活の約束を守る姿勢・態度の定着	長木っ子の約束の徹底（持ち物・服装・礼儀・自転車乗り等）		
(2)集団生活・集団行動の遵守	③学校づくりに参画する意欲と実践力の育成	児童会活動（委員会活動、子ども集会） 児童総会　クラブ活動	4.1	3.9
	④自分の行動に責任をもち、互いのよさを生かし認め合う態度の育成	係活動　学級会　縦割り班活動 輝き合い集会（表彰集会）　絆タイム 「ココロの授業」の実施		
(3)組織的な生徒指導	⑤問題行動の未然防止・早期発見、即時対応、指導体制の確立	長木っ子を語る会　個人面談　教育相談 いじめ等の調査　外部機関との連携	4.3	4.0

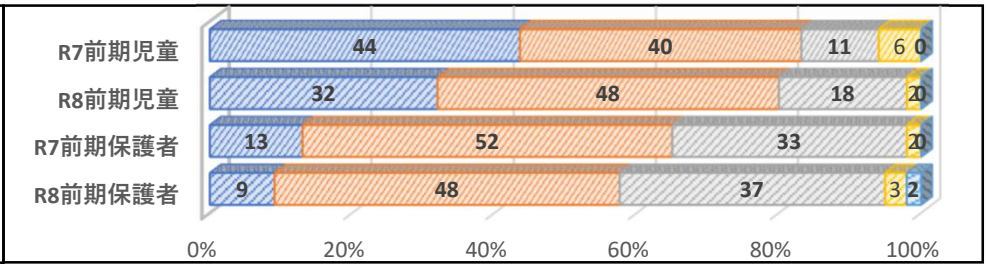
【評価指標（１）】基本的な生活習慣の定着

児童：友達や先生、地域の方々に元気にあいさつをしていますか。

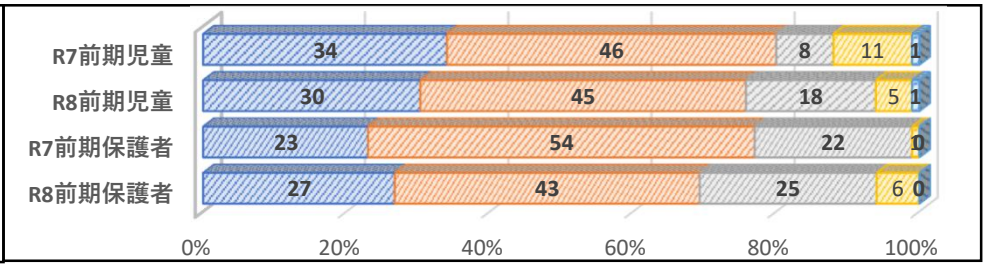
保護者：子どもたちは、ご家庭や町内で元気なあいさつをしていますか。



児童：相手のことを考えて、やさしい言葉をつかっていますか。
保護者：子どもたちは、思いやりの感じられる言葉づかいができていますか。

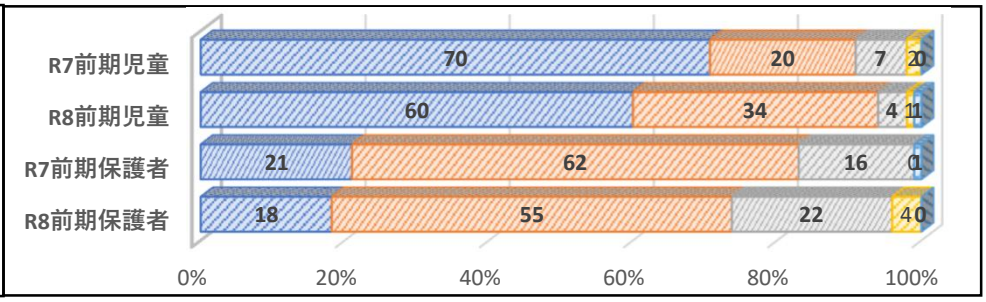


児童：名札を付けたり、学習用具を忘れずに持ってきたり、ろうかを静かに歩いたりしていますか。
保護者：子どもたちは、学校や家で約束を守ろうとしていますか。



【評価指標（２）】集団生活・集団行動の遵守

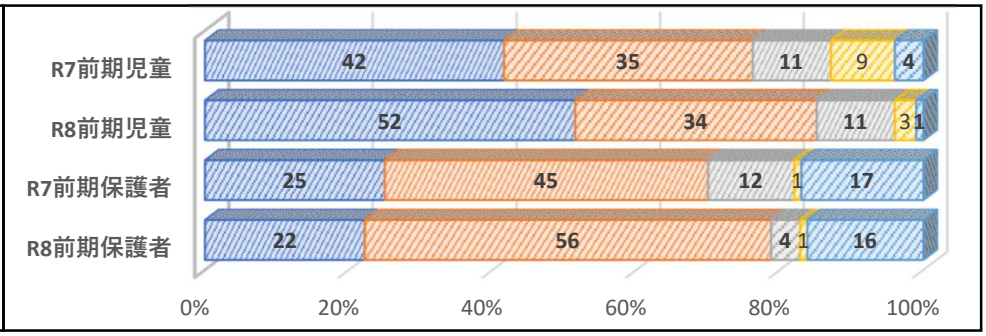
児童：学級の係活動、給食・そうじ、委員会の当番活動など、自分の仕事を責任をもって行っていますか。
保護者：子どもたちは、学校や家で自分の役割を果たそうとしていますか。



【評価指標（３）】組織的な生徒指導

児童：あなたにとっていじめなどのない、すごしやすい学校ですか。

保護者・教師：学校は、いじめ等のない安心できる学校づくりに取り組んでいますか。



Ⅳ　項目別評価

2　健康安全の保持と体力の向上

児童の状況		自己評価Ａ	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
食や運動を通じて健康や体力に関心をもち、また、避難訓練等を通して身の守り方を身に付け、健康で安全な生活を心がけている。	前期	良好	良好	中学生では、深夜に行われるオンラインイベントに夢中になっている生徒がいる。睡眠不足→朝食抜き→登校するが眠い・体調が優れない→保健室で寝る、というパターン。その時限りにならないように、メディアコントロールで何を求めるのか考える必要がある。朝食についての調査を続けると良いのではないか。
	後期			

自己評価の概要と学校の改善策

【前期】この項目では、児童・保護者・教職員ともに概ねどの項目も、８～９割の高い水準で肯定評価を維持しているが、「メディアコントロール」の項目は、（保護者68、児童72）である。夏休み中の報道で、複数のいわゆる先進国における未成年のSNS利用についての法制度化のニュースがあった。ゲームや動画視聴等に時間を支配され、本当にするべきことや睡眠時間が削られていることへの危機感は世界共通のようである。「自制心」「我慢する力」は、社会に出てなお重要視される能力と思われる。長木保育所と合同のメディアコントロールに関する取組は、今後もぜひ継続していきたい。

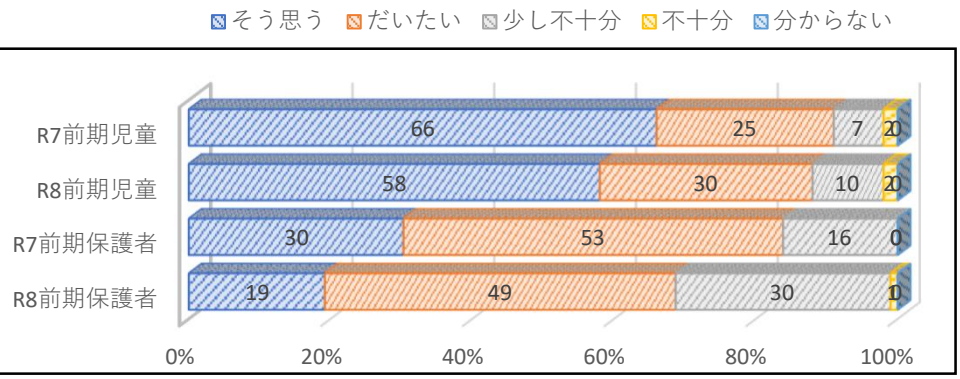
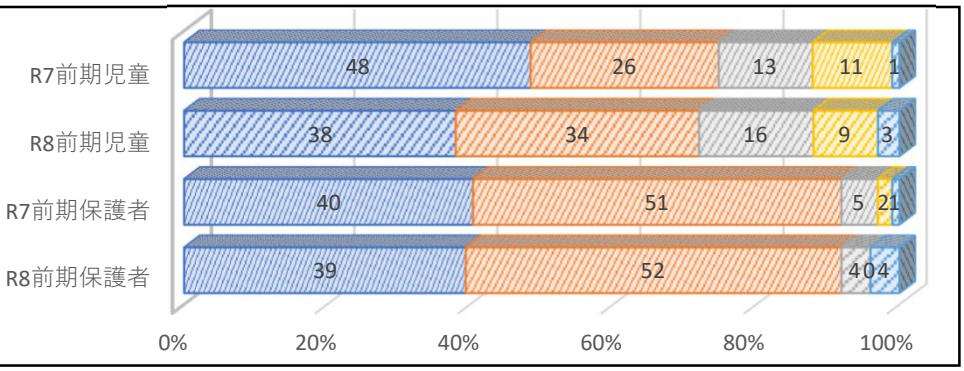
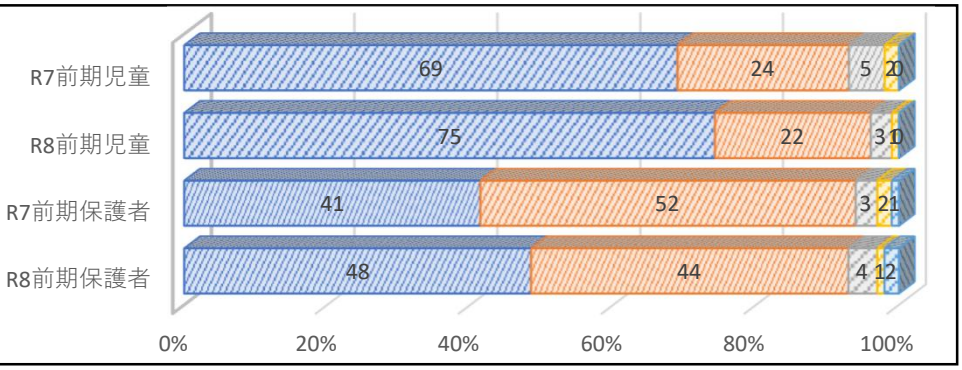
また、体力テストのアンケートによると、朝食について（時々食べない：24人）（毎日食べない：３人）いることが分かった。朝食は午前中の活動のエネルギー。〈早寝・早起き・朝ご飯〉。子どもたちに朝食をしっかり食べる習慣が付くよう指導していきたい。

児童の安全に関しては、避難訓練の実効性を高めるため、最も危険度の高い不審者対応訓練を今年も４月中に実施した。また、PTA全体会や学校報での周知の効果か、公民館駐車場を利用したり校舎敷地外で車から降りる児童が少しずつ増えてきている。熊出没の危険が感じられない時期は、歩いて玄関に迎う児童を増やす手立てを考えたい。

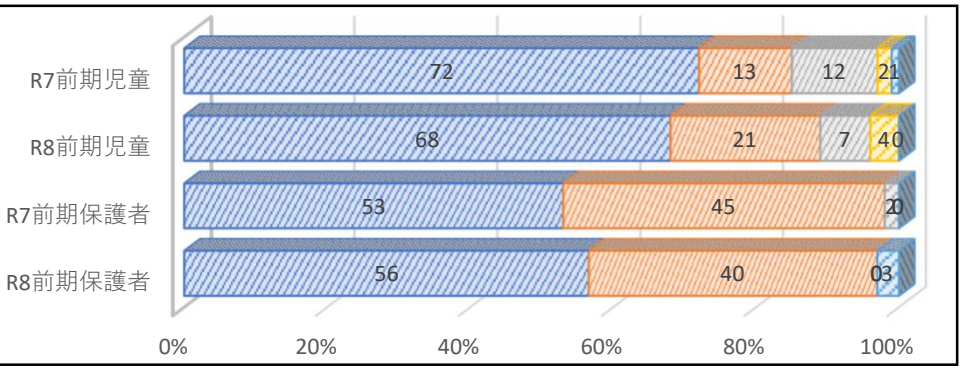
【年度】

評価指標	評価指標の内容	主な取組	自己評価Ｂ	
			Ｒ７前期	Ｒ８前期
(4)健康教育、食育、安全教育の推進	⑥生活習慣の定着・改善	生活習慣の定着とメディアに関する実態調査　メディアコントロール週間の実施 保健指導の充実　栄養士による食育指導 てくてく歩こう運動	4.2	3.9
	⑦安全教育の充実と組織的な取組	交通安全教室　避難訓練　危険箇所点検 tetoruの活用　ＰＴＡ・地域・子ども見守り隊との連携　登下校指導		
(5)体力づくり	⑧さわやかマラソン・業間運動への積極的な取組	さわやかマラソン　外遊びの奨励 マラソン記録会の実施	3.9	3.7
	⑨新体力テストの結果の向上	結果分析・活用　体育授業での補強		

【評価指標（4）】健康教育、食育、安全教育の推進

児童：「早ね、早おき、朝ごはん、歯みがき」をしっかりしていますか。 保護者：子どもたちは、「早寝、早起き、朝ご飯、歯みがき」や「メディアコントロール」などの基本的な生活習慣が身に付いていますか。	
児童：時間を決めて、ゲームをしたり動画を見たりしていますか。 保護者：学校は、メディアコントロール・食育指導等、子どもたちの生活習慣を改善するための取組をしていますか。	
児童：地震や火事などのときの身の守り方・逃げ方や、交通安全のルールを守れていますか。 保護者：学校は、避難訓練や交通安全教室、登校指導等を通して、児童の安全対策を取っていますか。	

【評価指標（5）】体力づくり

児童：さわやかマラソン、てくてく歩こう運動、ふだんの外遊びなどで、よく体を動かしていますか。 保護者：学校は、さわやかマラソン・てくてく歩こう運動・外遊びの奨励等を通して、児童の体力向上・健康増進に取り組んでいますか。	

Ⅳ　項目別評価

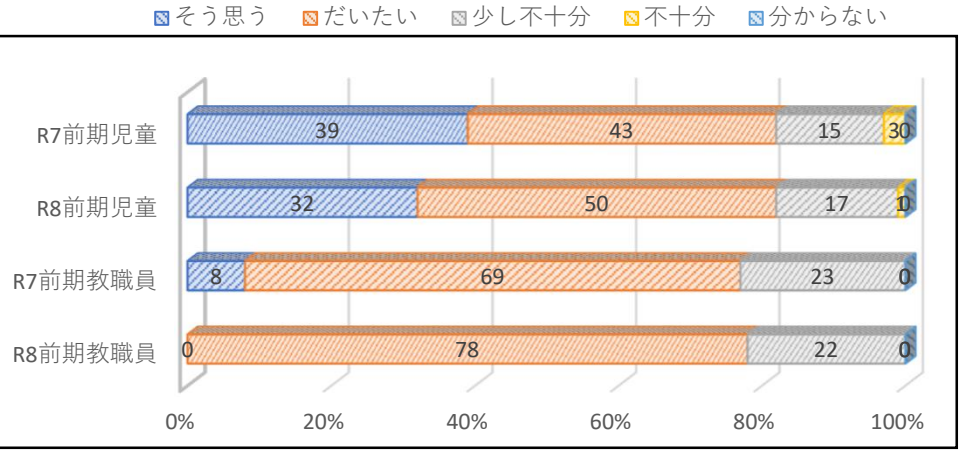
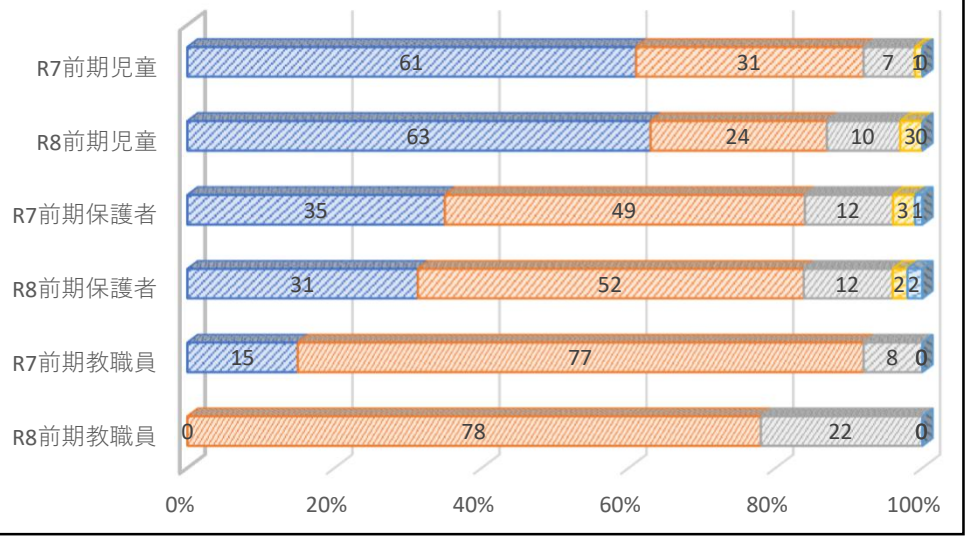
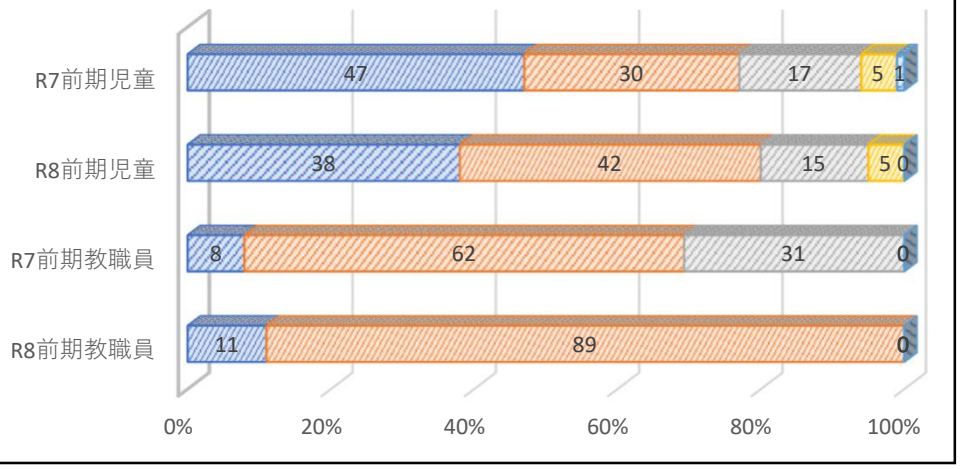
3　確かな学力

児童の状況		自己評価Ａ	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
意欲的に学習に取り組み、基本的な学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	概ね良好	概ね良好	授業レベルが非常に高い。１年生がここまでできるのかと驚いた。力のある先生の授業を見ることで、さらに全体の授業力が上がる。授業を受けている児童の評価が事実。次の目標を立てて、その先の取組をしていくことがだいじ。去年より、本棚の本がきれいに整頓されている。話す力やコミュニケーション力は勉強に限らず、人生においてだいじな能力である。
	後期			

自己評価の概要と学校の改善策	
	【前期】「家庭学習の習慣」は、（児童92→87、保護者84→83）とやや下がったがまずまずの評価。分かりやすい授業」は（児童95→97）（保護者86→88）というたいへんありがたい評価だった。毎日の先生方の授業研究・準備・指導が実を結んでいるものと思う。今年度も、北教育事務所・市教育委員会訪問において、「力のある先生方が揃っている。見取り・発問・授業作りが上手である。」「子どもたちが素直、明るく、パワーがあっていい。」「挙手の仕方、同じです・似ていますの反応。相手見て話を聞く姿勢。しつけられている。」「教師もアンテナをはってたくさんの児童の発言を引き出していて、素晴らしい。」「声は出る、やる気もある、しゃべれる。単に答えを言う発言ではなく、個々の思考があって周りにどうやって伝えるかを考えている。」といった評価をいただいた。「読書」に関する数値は低調なまま（児童69→57）（保護者75→77）だったが、新しく〈夏休み親子読書〉に取り組みカードに親子で感想を書いてもらった。丁寧に感想を書く保護者が多く、活動を楽しんでくれたようだ。後期の評価にどのように反映されるかを期待したい。
	【年度】

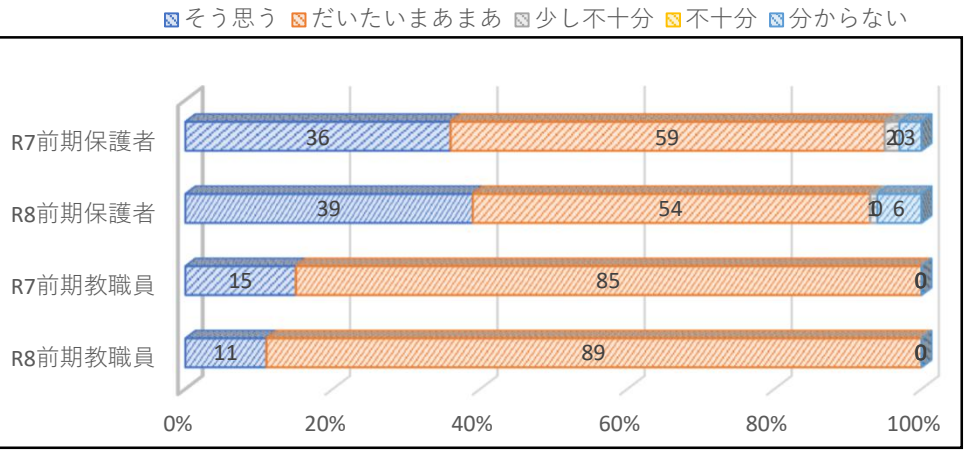
評価指標	評価指標の内容	主な取組	自己評価Ｂ	
			Ｒ７前期	Ｒ８前期
(6) 学習への取組	⑩基本的な学習習慣の定着	学習の約束（チャイム席/準備）　相手を意識した聞き方・話し方　家庭学習	3.8	3.6
	⑪学習内容の基礎・基本の確かな定着	週末課題　長木検定　ドリル検定 パワーアップ		
	⑫課題解決的で共感的な学び合いの推進	課題解決的な単元構想 共感的なかがやきタイム　ＩＣＴの活用		
	⑬読書活動の推進	読書タイム　読書運動　週末読書 よむよむリストの活用		
(7) 諸学習調査の状況	⑭学習状況調査等の分析と改善	学習状況調査・ＣＲＴの分析と活用・補充指導	3.7	3.5

【評価指標（6）】学習への取組

児童：チャイム席を守ったり、みんなに聞こえる声で発表したり、相手の話をしっかり聞いたりしていますか。 教職員：児童は、チャイム席を守ったり、望ましい話し方・聞き方をしたりして学習に取り組んでいる。	
児童：家庭学習を毎日していますか。 保護者：子どもたちは、家庭学習の習慣が身についていますか。 教職員：児童は、家庭学習の習慣が身についている。	
児童：授業中に、進んで発表したり話し合ったりしていますか。 教職員：児童は、課題解決型の授業を通して、進んで発表したり話し合ったりしている。	

【評価指標（6）】学習への取組

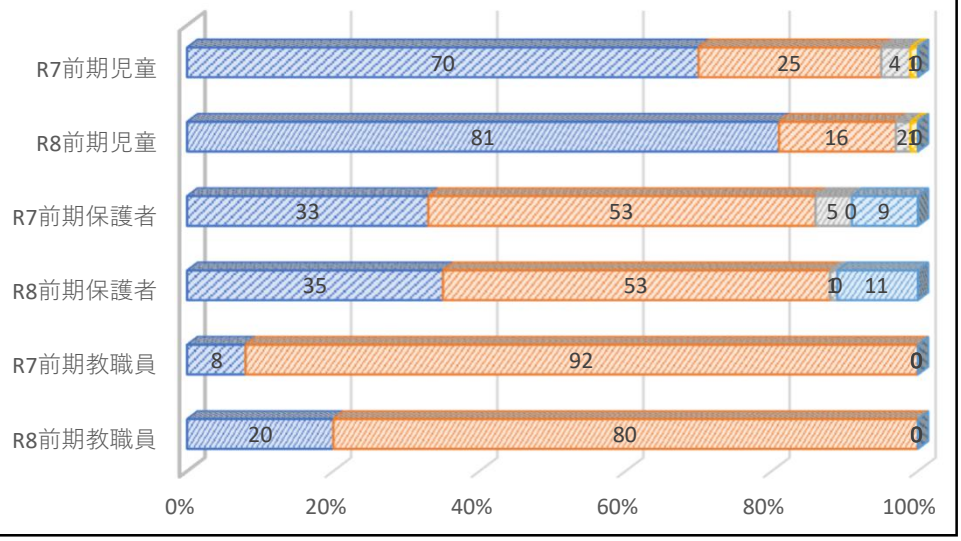
保護者：学校は、日々の学習、ぐんぐんタイム、長木検定、補修時間等を通して、子どもたちの基礎学力に力を入れていますか。
教職員：日々の学習、ぐんぐんタイム、長木検定、補修時間等の取組によって、児童の基礎学力の定着・向上が図られている。



児童：先生がたは、勉強をわかりやすく教えてくれますか。

保護者：学校は、わかりやすい授業を提供していますか。

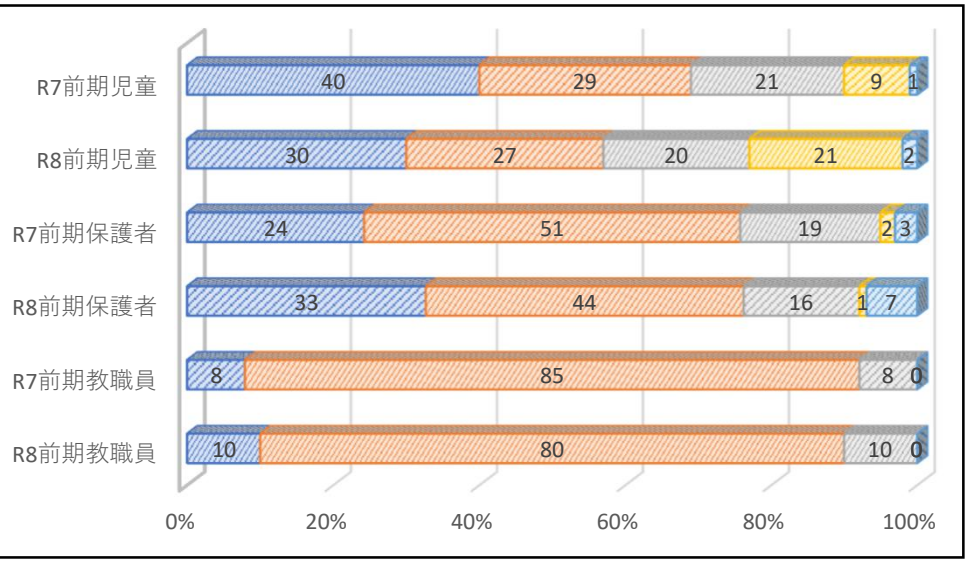
教職員：児童にわかりやすい授業をしている。



児童：学校や家で、進んで読書をしていますか。

保護者：学校は、読書運動・週末読書・よむよむリストの活用等、子どもたちに読書の習慣が身につく取組を推進していますか。

教職員：学校は、児童が進んで読書をする取組を推進している。



Ⅳ　項目別評価

4　ふるさとキャリア教育

児童の状況		自己評価Ａ	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
ふるさとに誇りと愛着をもち、ふるさとに生きようとする気概もっている。	前期	良好	良好	この点に関しては、雪沢・長木地区の強み、特徴である。活動を決めるときに、先生からおりてくるのではなく、児童が話し合って進めていることが素晴らしい。授業の中にもその姿勢が現れている。学校外の人と関わることで、子どもたちは成長する。これからも取り組んでほしい。
	後期			

自己評価の概要と学校の改善策

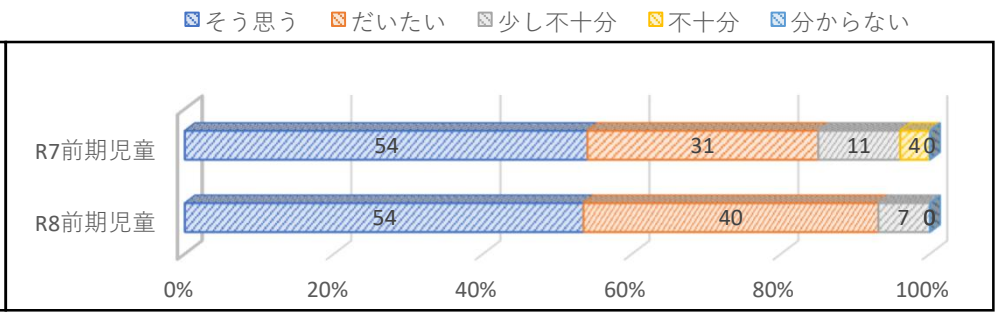
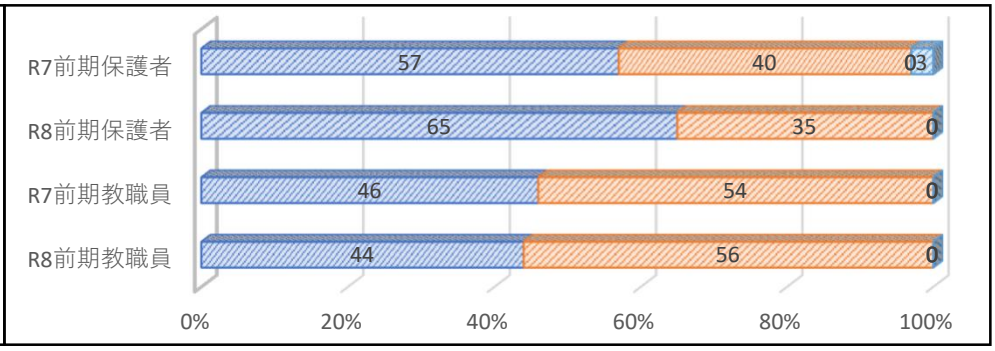
【前期】いずれも高評価、児童（⑮85→94、⑯80→95）、保護者（⑮97→100、⑯98→99）と、大変満足な状況であると考える。伝統的に続けているふるさとキャリア教育推進の成果が現れている。旧岱野駅舎周辺でのあじさい活動、学年花壇・農園の世話や、総合的な学習とも関連する地域を知り・伝える学習、メインの活動はこれからだが鳳凰太鼓・鹿島太鼓演奏、老人養護施設訪問等、地域と関わる活動が継続して行われ、それらを通して長木っ子の成長している様子が保護者に伝わっているものと感じる。全校を挙げてのあじさいのお世話活動が定着してきたこと、学級花壇のお世話が丁寧に為されていること、地域探検や施設訪問等で長木・雪沢地区のよさを見出すことにより、低学年の頃から地域を誇りに思い愛する心情が醸成されているものと思われる。

保護者の肯定評価がほぼ100%であることは、活動内容や児童の取組がきちんと学校報やホームページ等で保護者に周知・浸透しているからと思われる。これからも丁寧な周知・広報活動に努めたい。

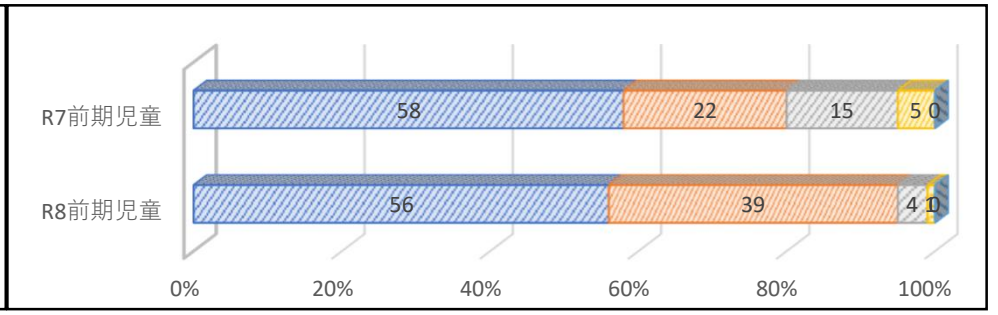
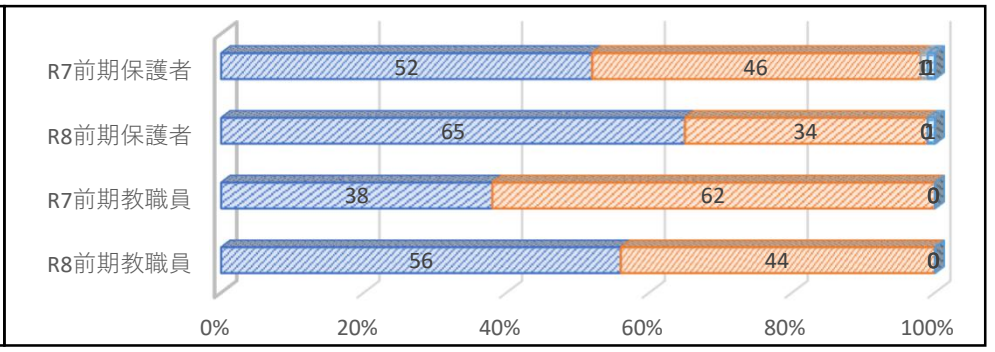
【年度】

評価指標	評価指標の内容	主な取組	自己評価Ｂ	
			Ｒ８前期	Ｒ８前期
(8)ふるさと教育・地域貢献の取組	⑮あじさいＰＪ・エゾタンポポＰＪの推進 鳳凰太鼓、鹿島太鼓の伝承	地域おこしＰＪへの全校体制での参加 鳳凰太鼓の継承と地域での演奏披露 伝承クラブによる鹿島流しの継承	4.3	4.2
(9)キャリア教育の推進	⑯協働力実践へのアプローチ	宿泊体験活動　地域行事への参加 町探検・職場体験　地域の施設訪問 地域ボランティア活動への参加	4.3	4.0

【評価指標（8）】ふるさと教育・地域貢献の取組

児童：あじさいやお花のお世話、鳳凰太鼓・鹿島太鼓の演奏に、進んで取り組んでいますか。	
保護者、教職員：学校は、あじさいＰＪやエゾタンポポＰＪ、鳳凰太鼓・鹿島太鼓等の活動を通して、子どもたちにふるさとを愛し、誇りに思う気持ちを育てていますか。	

【評価指標（9）】キャリア教育の推進

児童：鳳凰山登山や自然教室、町探検や地域を知る学習に、進んで取り組んでいますか。	
保護者、教職員：鳳凰山登山や自然教室、町探検、地域を知る学習等を通して、互いのよさを認め合い、協力して取り組もうとする気持ちを子どもたちに育てていますか。	

Ⅳ　項目別評価

5　保護者・地域との連携

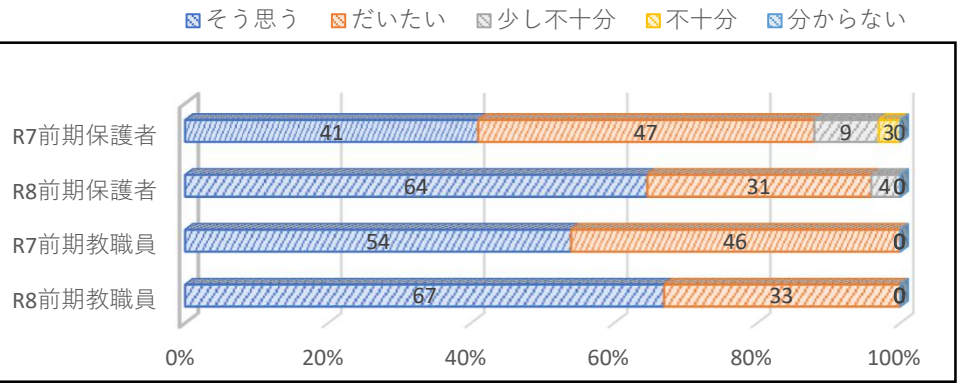
児童の状況		自己評価Ａ	運営協議会評価	学校運営協議会委員のコメント
学校の取組がわかりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力を有効に活用している。	前期	良好	良好	「ありがとう集会」の交流ゲームや感謝の呼びかけが嬉しい。これからも小学校のために協力したくなる内容・取組である。東中に８年勤めているが、雪沢・長木地区の保護者や生徒のまとまりはとても強い。長い時間を掛けて取り組んできたキャリア教育の方向性が間違っていないことの証しだと思う。
	後期			

自己評価の概要と学校の改善策	
	【前期】保護者・地域との連携については、保護者アンケートの全ての項目で88～96という極めて高い肯定的回答をいただいている。学校報・ホームページや学年通信、保健だよりなどで子どもたちの様子を保護者に伝えてきたことが評価されたものと感じている。今年度からtetoruを導入し、よりタイムリーなお知らせを心がけていること、各種問い合わせに丁寧に答えていることも高評価の要因と考える。やや設問を変更した「⑱学校は、保護者の問合せや質問に丁寧に答えたり、保護者の意見を学校運営に活かしたりしていますか」が（保護者88）だった。学校が保護者の気持ちに真摯に向き合っている現れと捉えたい。 　例年、公民館や婦人会、応援チームなどから強力な支援体制をいただいている。関連する会議に出席した際には、いつも長木・雪沢地区の〈地域の温かさ、協力体制の有難み〉をアピール＆自慢させていただいている。 　保護者の皆様のご意見やご要望に応えつつ長木地区の未来を見据えた学校運営と地域で学校が果たす役割について理解してもらう努力を続け、保護者と共にWell-beingな学校づくりに取り組むことで、地域の新たな教育風土の醸成につながっていくよう、保護者・地域との連携をさらに深めていきたい。
	【年度】

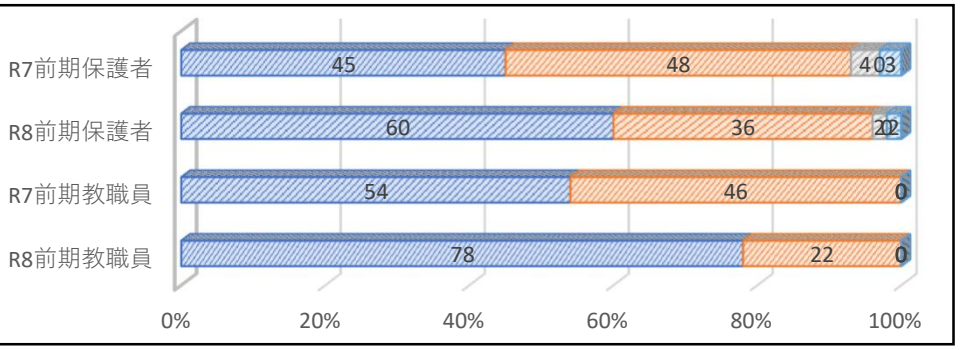
評価指標	評価指標の内容	主な取組	自己評価Ｂ	
			Ｒ７前期	Ｒ８前期
(10)地域・家庭との連携	⑰家庭・地域への情報発信、相互理解	学校報の地区配布　「みんなの登校日」の設定　エゾポッポくらぶの開催 ホームページ・tetoruでの情報発信	4.2	4.1
	⑱保護者、地域との連携	ＰＴＡ活動の推進　地域行事への参加 長木保育所との連携		
	⑲家庭・地域の意見の活用	学校運営協議会の実施 学校評価アンケートの実施と活用		
(11)地域の教育力の活用	⑳地域人材や地域素材の活用	長木小応援チームとの連携 正課クラブ指導者との連携 子どもハローワークの推奨	4.4	4.5

【評価指標（10）】家庭・地域との連携

保護者、教職員：学校は、学校報・学年だより・保健だより・tetoruの配信・ホームページや日常の情報交換等を通じて、学校や子どもたちの様子を積極的に伝えていますか。

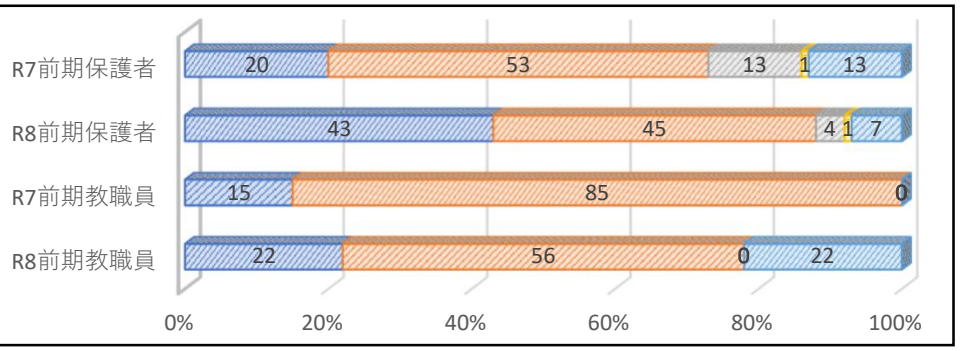


保護者、教職員：学校は、ＰＴＡ活動（学年部や各専門部）やエゾポッポくらぶ、保育所・公民館との交流等を通して、保護者や地域との連携を図っていますか。



保護者：学校は、保護者の問合せや質問に丁寧に答えたり、保護者の意見を学校運営に生かしたりしていますか。

教職員：保護者や運営協議会、教職員の意見が学校運営に反映されている。



【評価指標（11）】地域の教育力の活用

保護者、教職員：学校は、地域の教育力（岱野駅前プロジェクトや応援チーム、正課クラブの指導者の力、その他人材や素材）をよく活用していますか。

